

## 島田市新庁舎等整備基本計画審議会 第6回会議 議事概要

1 日時 令和元年5月14日（火） 午後7時～午後9時

2 場所 島田市役所本庁舎3階 第2委員会室

### 3 出席者

#### (1) 委員

海道会長、伊藤副会長、石川委員、大石委員、木下委員、佐久間委員、重川委員  
(8人中7人出席)

#### (2) 事務局

行政経営部資産活用課長、資産活用課職員7人

#### (3) 傍聴者

7人

### 4 概要

#### (1) 開会

#### (2) 議事

##### ○報告事項

次の点について報告した。

1. 島田市新庁舎整備基本計画（案）に係るパブリック・コメントの募集結果について

委員からの質問・意見は以下のとおり（●：質問・意見 →：事務局、委員からの回答）

●エネルギーのベストミックスの追求は重要なので、今後の検討課題として必ず反映を考慮していく重要な要素という整理が良いと思う。

●どのエネルギーの組合せがベストミックスになるのか。

→今後の設計段階において異なった提案が出てくる可能性がある。そのため、次の段階において重要な整理項目になる。

●「地元産材」をどこまでの範囲とするかを慎重に検討した方が良い。静岡県産材、静岡県産材の中でも島田市域内の木材に限るとなると調達したい材が全て揃うかどうかという問題が出てくる。使われる木材について、島田市として静岡県産材、地元流域材の割合、また木材自体をどのくらい使っていくかの割合があると思うが、短い工期で、目標とする割合の材の調達が可能であるかどうか等も事前に検討するべき。

●今後、発注をする時に地元業者に配慮してほしい。

##### ○協議事項

次の点について協議した。

1. 島田市新庁舎整備基本計画について

委員からの質問・意見は以下のとおり（●：質問・意見 →：事務局からの回答）

- 学習支援とあるが、ワークショップではどういう議論がされたのか。  
→各グループにおいて授業、放課後寺子屋計画、学びの交流、学びのスペースの活用といった意見があったのでこれらを「学習支援」という言葉で括らせてもらった。
- 「設備要件に係る困難度は低いことから」という表現は消極的。ワークショップでの意見を反映できる積極的な表現があっても良いと思う。
- 文末に「導入します」「計画します」「計画とします」「目指します」と様々な表現があるが表現方法に意味はあるのか。  
→実現に向けてははっきり言える部分とまだ言い切れない部分もあるというところで言葉を使い分けている。
- 新庁舎の建設工事費は約69億3千万円となっているから、平米単価は約55万円となる。建設中の市民病院と比較すると平米単価はどうなっているのか。市民の皆さんもそこに関心があると思う。  
→計画段階の概要の数字ではあるが、工事費が約196億円、新棟の面積が約34,000㎡となっているので平米単価は約57万6千万円となっている。
- 費用算定の根拠が書けるのであれば明記しておいた方が良いのではないか。その方が市民に説明しやすい。
- 金額についてはもっとざっくりしたもので良いのではないか。かなり細かいので今後縛られるような気がする。
- 合併特例事業債と合併推進事業債の違いは。  
→2段階の合併で早い方の合併の対象が合併特例事業債、遅い方の対象が合併推進事業債になる。基本構想においては注記をつけたので、同じ注記を加えるよう調整する。
- 「基金からの繰入額は、工事請負契約の状況等により調整します」とあるが、基金からの繰入額だけを契約の状況により調整するのか、その後も調整の対象になるのか  
→国・県補助金が未定なので、それが確定し、引いたものに対して起債の充当をする。事業費に対して何パーセントなら起債を充てても良いというルールがあるので数字が決まり、差し引いたものに一般財源を充てるか基金を充てるかということになる。総額が決まり、補助金が決まれば他も決まる流れになる。
- 事業期間中とあるが、これは建設期間ではないのか。事業期間はお金を返していく期間なのか。市民目線でわかりやすい表現のほうが良い。  
→事業期間とは建設事業の期間である。
- P33のライフサイクルコストについて、コストの値をどのように算定しているかの根拠を示してもらいたい。
- P33において、「ライフサイクルコストの低減を図るため、建物本体及び設備の維持管理の適切化に努めます」といった記載があるが、さらに一步踏み込んで、計画通り適正に維持管理が行われているか運用時も見直しをするという記載もあった方が良い。また、同様の内容を市長への答申にも盛り込んでほしい。  
→指摘いただいた点については調整していずれかに補足をするようにする。

- 基本設計の段階で市民ワークショップは行うのか。
  - 設計全般ではなく、今出ているアイデアを磨いていく、深めていく必要があると考えている。また、おおりの空いたスペースの運用についても話題とする必要がある。
- 什器等は入れ替えるのか。
  - 現在、現状の什器類の程度について調査している。使えるものであれば使いたい。使えるものがどれくらいあるか総量を把握して、得策を見極めていきたい。
- ユニバーサルデザインに多く触れていて、これが実現したらお子さん連れの市民や障害者にとって利用しやすい庁舎になる。全てを実現するのはコストや面積の関係から難しいと思うので、可能などころで可能な限りで導入してほしい。
- 学習支援についてであるが、歩歩路の2階や図書館にも学習スペースがあり、市役所の中にどうしても取り入れないといけないものではないと思う。時間の問題、人の配置の問題、コストの問題もあるので安易にうたっているのかどうか。
  - 周辺の施設それぞれに役割があるので、役割分担の適正化を検討していく。
- 建物は目立つものというより環境に配慮した先進的なものにする等、現代を象徴するものがかたちとしてあってほしい。その中の一つに地元の木材の利用があると思う。

## 2. 市長への答申について

委員からの質問・意見は以下のとおり（●：質問・意見 →：事務局からの回答）

- 44ある課と記載があるが、今後再編等が変わる可能性があるのであれば「現在ある課」の方が良いのではないか。
- パブリック・コメントで多くの意見があった木材利用の部分については、木造化という強い表現にしても良いのではないか。全部の木造化は難しいので、一部でも良い。
- （3）その他新庁舎整備に必要な事項の下に地場産材の活用を含めた木造化の検討を行うという表現を入れてほしい。
- 市民が効率的に負担なくサービスを受けられ、また行政業務も効率的に進められるようにワンストップサービスを導入するという表現にすると良い。
- ユニバーサルデザインについての記載をもう少しソフトにしてほしい。基本計画はとても優しい表現になっていた。
- 受動喫煙の記載はいらぬのではないか。
  - 削除する方向にする。

### （3）その他

市長への答申の日程は5月30日（木）午後7時からであること伝える。

### （4）閉会